

## ■ 取扱方法

本製品は、報知、連絡用であり  
生命救済、犯罪防止を目的とした  
機器ではありません。

商品詳細はコチラ

右記WEBサイトで  
詳しい使い方や設  
定などを確認でき  
ます。



### 安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



### ⚠ 警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### ■ 指定の電池を使用する

- ・コール受信機は必ず市販の単3形アルカリ乾電池を使用
- ・コールボタンは必ず市販のコイン形リチウム電池CR2032を使用
- ・別の種類の電池を使用すると、液漏れや発熱の原因となります。
- ・電池は入れる前に、Ⓐの向きを確かめて正しく入れる。  
向きを間違えると火災や感電、故障の原因となります。

#### ■ 分解、改造、修理はしない

- 分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。

### ⚠ 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

#### ○ コール受信機を耳にあてない

- コール受信機から急に大きな音が出了した場合、難聴等の原因となります。

### 使用上の注意

#### ■ 本製品を設置する前に、必ずコールボタンの登録と動作確認を行ってください。

本書に記載されている以外の取り付けを行ったことに起因する故障、および事故については当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

- ・設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響によって電波が衰弱するなど、正常に動作しないことがあります。
- ・取付作業をする前に、実際に取付場所でコールボタンを押してコール受信機が鳴ることを確認してください。

#### ■ 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。

### ○ お手入れの注意

- ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。

### ■ 電波について

本製品のコールボタンは電波法に基づく工事設計認証を受けた315MHz帯無線設備です。

- ・本製品の分解・改造は電波法で禁止されています。
- ・他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、使用を停止してください。

### ■ 防水性能について(コールボタンのみ)

コールボタンにはJIS保護等級IPX4(防水型)相当の防水性能がありますが、完全防水ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、大量の水(ゲリラ豪雨や台風の雨など)がかかる場合や水没した場合は故障する恐れがあります。

### ■ コール受信機は屋内専用です。

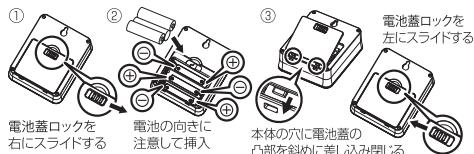
### ご購入頂いた時点では

コールボタンは登録されておりません。

## 使用方法

### ■ コール受信機に電池を入れる

- ①コール受信機の電池蓋を開け右にスライドして電池蓋を外します。
- ②市販の単3形アルカリ乾電池を電池ボックス内の刻印の向きに合わせて挿入します。
- ③電池ボックス下部の穴に電池蓋の凸部を斜めに差し込み閉めながら、電池蓋ロックを左にスライドさせます。



### ■ コールボタンの登録のしかた(呼出音の設定)

- ①コール受信機の選択ボタン(Ⓑ)を押すたびに呼出音が切り替わりながら鳴りますので選択したい呼出音が鳴るまで押してください。
- ②コール受信機の音量ボタン( milf )を「ピッピッ」と音が鳴りLEDが点灯するまで長押ししてください
- ③コールボタンを1回押します。

詳しくはWEBサイトをご確認ください。

### ■ コールボタンに電池を入れる

- ①コールボタン下側の隙間にマイナスドライバー等を差し込み、取付プレートを下にスライドさせながら外します。
- ②ボタンカバーのねじを外し、ねじ穴の上部にある凹部にマイナスドライバー等を差し込んで持ち上げるように外します。
- ③市販のコイン形リチウム電池CR2032のⒶ極(印字面)を上にして、電池トレーの凸部に引っ掛けながら押し込み装着してください。
- ④ボタンカバーの凹部を本体下側の凸部に引っ掛けながら押し込み、ねじで締め付けます。



## 保証書

その他、無償修理または交換が認められない事が発見された場合は。

- ・データを取り扱う際はバックアップを必ず取って下さい。製品の故障または使用によって生じた、保管データの消失、破損等については一切保証いたしません。
- ・本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- ・本製品の故障に起因する道徳的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の賠償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

### ■ その他

- ・保証書の再発行は行いません。
- ・修理で交換された故障製品および故障部品の所有権は、弊社へ帰属とさせていただきます。製品修理にかかる付帯費用(運賃、設置工事費、人件費)については、弊社は一切の費用負担を行いません。
- ・有償、無償にかかわらず修理により交換された旧製品または旧製品等は返却いたしません。
- ・記憶媒体が搭載された製品において、修理セントーにて製品交換を実施した際にはデータの完全性を保つべく、全て初期化いたします。記憶媒体が搭載された製品を修理に提出する前に、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきたいと存じます。
- ・同機種での交換ができる場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と、交換させて顶く場合があります。

### ■ 有効範囲

本保証規定に基づく保証は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)

お買上年月日	販売店	ご住所・ご店名
年 月 日		

電話( )